

遺伝子組換え作物コンセンサス会議

— 遺伝子組換え作物の栽培について道民が考える「コンセンサス会議」 —

評価報告書

平成19年8月
コンセンサス会議実行委員会

はじめに

この冊子は、北海道が主催した遺伝子組換え作物の栽培について道民が考える「コンセンサス会議」について、会議の企画・運営・進行を担当した実行委員会の立場から、同会議について概要と評価を報告するものです。

今回、北海道庁では、道民の間で幅広い論争のある遺伝子組換え作物の栽培について、コンセンサス会議の手法を導入し、道民の参加と活発な議論を求めました。私たち実行委員は、道知事の委嘱を受け、会議の透明性・公平性を確保するため、道からは独立した立場で、会議の企画・運営・進行にあたりました。

コンセンサス会議とは、社会的な論争をはらむ科学技術の開発や利用、規制などについて、一般市民が専門家の話を聞きながらじっくりと議論し、参加者の合意(コンセンサス)で意見文書をまとめ、それを公表するという手法であり、約20年前に北欧のデンマークで生まれました。科学技術の話題について、必ずしも専門知識を持たない一般市民が議論の主役になって、自らの手で意見文書をまとめていくというのが、最大の特徴です。

日本においても、10年ほど前から、この方法を実験的に使った会議が試みられてきましたが、今回、北海道で行われた「遺伝子組換え作物コンセンサス会議」は、その結論を政策形成に生かすという前提のもと地方自治体が主催したという点で、日本初の「実用化された」コンセンサス会議でした。

本冊子の取りまとめにあたっては、この点を強く意識し、今後、北海道や他の自治体等において同種の手法を用いた会議が行われる場合の参考となるよう、会議自体の実施経過や結果だけでなく、会議準備、実施の全プロセスを多角的に報告するよう努めました。

たとえば、コンセンサス会議本体の概要だけでなく、準備委員会や実行委員会の経過、会議実施に要した経費などについても報告しています。これは、コンセンサス会議の透明性や公平性を事後的に確保する作業の一環ですが、それと同時に、今後、同種の手法を試みる人々に有益な情報を提供することも意図したからです。

また第7章「評価報告」では、実行委員会としての企画・運営・進行のパフォーマンスについて自己評価しています。コンセンサス会議という手法がいくら「良いもの」だとしても、無限にリソースを投入するわけにいかないことも確かです。そこで、今回の会議が、所期の目的に沿って効率的かつ有効に、また妥当な手続きのもとで行われたかを自己評価した次第です。参加型会議に対するこの種の体系的な評価は、従来、日本ではほとんど試みられていません。本報告書は、簡便かつ暫定的なものではありますが、今後、わが国において同様の評価を試みられる方々に、先行事例として参照・活用していただけるものと考えています。

さらに、第11章では、コンセンサス会議をはじめとする市民参加型手法に造詣の深い専門家の方々に、過去の日本でのコンセンサス会議とも比較しながら、今回の会議の特徴や課題について寄稿していただきました。また、事務局スタッフ、協力機関の専門家にも、それぞれの視点から、今回のコンセンサス会議を評価していただきました。今回のコンセンサス会議が、これら専門家の方々に注目され、また力強いご支援をいただいたということの現れでもあります。

この小冊子が、北海道農業の未来を考える北海道内外の多くの方々、また科学技術に関する政策形成への市民参加の途を探る皆さまにとって、有益な手がかりとなれば幸いです。

平成19年8月

コンセンサス会議実行委員会 委員長 杉山 滋郎

遺伝子組換え作物コンセンサス会議

— 遺伝子組換え作物の栽培について道民が考える「コンセンサス会議」 —

■ 第1回コンセンサス会議本体会議「知識の獲得」（平成18年11月15日 道庁赤れんが庁舎）



専門家からの情報提供
道民委員以外の一般道民も参加



専門家からの情報提供
札幌テレビ放送 佐々木律 報道課長



専門家からの情報提供
北海道大学 喜多村啓介 教授



専門家からの情報提供
四日市大学 河田昌東 講師



専門家からの情報提供
長沼町農業協同組合 内田和幸代表取締役



専門家からの情報提供
北海道食の自給ネットワーク
大熊久美子 事務局長



専門家からの情報提供
興部町 富田ファーム 富田泰雄 オーナー



専門家からの情報提供
北見市 角田農園 角田誠二 代表



専門家からの情報提供
北海道農政部食の安全推進局食品政策課
今井聡裕 主幹



専門家と道民委員との対話
(質疑応答と補足説明)



専門家と道民委員との対話
(質問に答える専門家)



専門家と道民委員との対話
(回答に耳を傾ける道民委員)

■ 第2回コンセンサス会議本体会議「知識の整理」（平成18年12月2日 道庁赤れんが庁舎）



全体会議



グループ討論



グループ討論
グループA



グループ討論
グループB



グループ討論
グループC



全体会議
グループ討論の成果発表

■ 第3回コンセンサス会議本体会議「鍵となる質問づくり」

(平成18年12月16日 道庁赤れんが庁舎)



全体会議

杉山実行委員長あいさつ



グループ討論



全体会議

鍵となる質問（案）の作成



全体会議

鍵となる質問（案）の発表



全体会議

鍵となる質問の決定

■ 第4回コンセンサス会議本体会議（第1日目）「専門家との対話と道民委員どうしの議論」
（平成19年2月3日 道庁赤れんが庁舎）



杉山実行委員長あいさつ



高橋はるみ知事ビデオあいさつ



「鍵となる質問」に対する回答
市民バイオテクノロジー情報室
天笠 啓祐 代表



「鍵となる質問」に対する回答
(独) 農業生物資源研究所
遺伝子組換え研究推進室
田部井 豊 室長



「鍵となる質問」に対する回答
内閣府食品安全委員会事務局
永田 明 リスクコミュニケーション官



「鍵となる質問」に対する回答
北海道農政部食の安全推進局
竹林 孝 局長



「鍵となる質問」に対する回答
京都大学大学院 久野 秀二 助教授



「鍵となる質問」に対する回答
麻田 信二 前北海道副知事



「鍵となる質問」に対する回答
(独) 農業・食品産業技術総合研究機構
北海道農業研究センター
佐藤 裕 チーム長



「鍵となる質問」に対する回答
北海道東海大学 西村 弘行 学長



全体会議
主要な論点について意見交換

■ 第4回コンセンサス会議本体会議（第2日目）「市民提案の取りまとめ」

（平成19年2月4日 道庁赤れんが庁舎）



グループ討論
グループA



グループ討論
グループB



グループ討論
グループC



全体会議
市民提案の作成



全体会議
市民提案の作成を見守る実行委員と傍聴者



全体会議
市民提案の完成



道民委員
閉会式並びに市民提案手交式



コンセンサス会議実行委員会委員
閉会式並びに市民提案手交式



閉会のあいさつ
杉山滋郎実行委員長



閉会のあいさつ
北海道農政部 稲垣参事監



道民委員から実行委員会、道に
市民提案を提出



道民委員、実行委員、道関係者、
事務局職員との記念撮影

目 次

1	遺伝子組換え作物コンセンサス会議の概要 -----	1
(1)	目 的 -----	1
(2)	主 催 -----	1
(3)	協 力 -----	1
(4)	企画運営 -----	1
(5)	実施結果 -----	1
(6)	「市民提案」の主な内容 -----	2
(7)	今後の対応 -----	2
(8)	コンセンサス会議実施フロー -----	3
2	コンセンサス会議準備委員会の概要 -----	4
(1)	コンセンサス会議準備委員会委員 -----	4
(2)	コンセンサス会議準備委員会 -----	4
3	コンセンサス会議実行委員会の概要 -----	6
(1)	コンセンサス会議実行委員会委員 -----	6
(2)	第1回コンセンサス会議実行委員会 -----	6
(3)	コンセンサス会議道民委員の募集 -----	9
(4)	第2回コンセンサス会議実行委員会 -----	10
(5)	第3回コンセンサス会議実行委員会 -----	11
(6)	道民委員の委嘱 -----	15
(7)	第4回コンセンサス会議実行委員会 -----	16
(8)	第5回コンセンサス会議実行委員会 -----	17
(9)	第6回コンセンサス会議実行委員会 -----	18
4	コンセンサス会議本体会議の概要 -----	19
(1)	第1回コンセンサス会議本体会議 -----	19
(2)	第2回コンセンサス会議本体会議 -----	25
(3)	第3回コンセンサス会議本体会議 -----	30
(4)	道民委員からの「鍵となる質問」 -----	32
(5)	第4回コンセンサス会議本体会議 (第1日目) -----	36
(6)	" (第2日目) -----	42
(7)	第3回北海道食の安全・安心委員会での市民提案の報告 -----	44
5	コンセンサス会議実施に要した経費 -----	46
6	市民提案 -----	49
7	評価報告 -----	60
8	コンセンサス会議道民委員の感想文 -----	73
9	コンセンサス会議道民委員アンケート調査結果 -----	81
10	コンセンサス会議参加専門家に対する調査の概要 -----	94
11	寄稿文 -----	95
(1)	2007年4月北海道CC報告書への寄稿 -----	95
(2)	北海道のコンセンサス会議：外野からの観察記 -----	98
(3)	今回のコンセンサス会議の特徴とコンセンサス会議の有効性 -----	104
(4)	専門家と道民委員の相互理解 -----	107
12	コンセンサス会議実行委員の感想 -----	111

参考資料 市民提案 - 英訳版 -
 専門家アンケート調査結果
 コンセンサス会議掲載新聞記事等

1 遺伝子組換え作物コンセンサス会議の概要

(1) 目的

遺伝子組換え作物については、様々な議論と評価がなされていることから、広く道民に遺伝子組換え作物に関する情報を提供するとともに、道内で栽培される場合の課題等の明確化や道民意識の把握を図り、道の施策検討への参考として活用することを目的に、リスクコミュニケーションの一環として、「遺伝子組換え作物の栽培について道民が考える『コンセンサス会議』(以下「コンセンサス会議」という。)」を開催するほか、コンセンサス会議手法の北海道における活用の可能性について検討する。

(2) 主催 北海道

(3) 協力 北海道大学 科学技術コミュニケーター養成ユニット 遺伝子組換え作物対話フォーラムプロジェクト

(4) 企画運営 コンセンサス会議実行委員会 (委員長 杉山 滋郎(北海道大学大学院理学研究院教授)ほか7名)

(5) 実施結果

ア 道民委員 15名

■応募の状況 平成18年9月から10月までに全道から89名が応募

■委員の内訳 性別 女性(8人) 男性(7人)

年齢 10代(2人) 20代(2人) 30代(2人) 40代(3人) 50代(3人) 60代(3人)

地域 道南(1人) 道央(10人) 道北(1人) ホ-ツク(1人) 十勝(1人) 釧根(1人)

イ コンセンサス会議等の開催状況

■準備委員会の開催 平成18年7月28日(月)

会場：道農政部会議室

■実行委員会の開催 第1回 平成18年8月28日(月) 第2回 〃 9月29日(金) 第3回 〃 10月24日(火) 第4回 〃 12月18日(月) 第5回 平成19年1月26日(金) 第6回 〃 3月28日(水)

会場：道農政部会議室



コンセンサス会議実行委員会の様子

■本体会議の開催 第1回「知識の獲得」 平成18年11月25日(土) 道民委員に対する専門家からの 情報提供・対話により基礎知識を 学習する。(シンポジウム形式)

第2回「知識の整理」
平成18年12月2日(土)
第1回本体会議で得た情報など
をもとに、道民委員が感想や疑問
点を整理し、論点を浮かび上がら
せる。

第3回「鍵となる質問づくり」
平成18年12月16日(土)
第2回本体会議での論点整理等
の成果をもとに、専門家への「鍵
となる質問」を作成する。



第1回本体会議の様子(道民委員と専門家との対話)

第4回第1日目「専門家との対話と
道民委員同士の議論」

平成19年2月3日(土)

専門家から鍵となる質問の回答を聞き(シンポジウム形式)、質疑応答を通して対話し、道民委員同士の議論を深め「市民提案」に向けた議論を行う。

第4回第2日目「市民提案の取り
まとめ」

平成19年2月4日(日)

「市民提案」を作成するための議論を取りまとめ、完成させる。

会場：道庁赤れんが庁舎会議室



第4回本体会議のようす(市民提案の取りまとめ)

■北海道食の安全・安心委員会
での報告「市民提案の報告」

平成19年3月19日(月)

道民委員が取りまとめた「市民提案」を北海道知事の附属機関である食の安全・安心委員会において報告、市民提案について議論する。

■北海道食の安全・安心委員会
での報告「評価報告」

平成19年7月10日(火)

実行委員会が取りまとめた「コンセンサス会議評価報告書」を北海道食の安全・安心委員会に報告する。



第4回本体会議のようす(市民提案の手交式)

(6) 「市民提案」の主な内容

ア 安全・安心の視点から

- ・長期摂取による世代を越えた慢性毒性試験の実施
- ・アレルギーへの影響についての研究の推進
- ・表示における非意図的な混入許容率の1%未満への引き下げ(現行は5%)
- ・醤油、油などのGM食品の表示の義務化
- ・慎重な研究推進と一般の人にも分かりやすいデータの公表
- ・行政と専門家が広く道民と対話する機会の設定
- ・国の食品安全委員会への消費者や生産者などの様々な立場の人の参加または第三者機関の設置

イ 消費者と生産者の視点から

- ・GM食品に関する表示の徹底(再掲)
- ・消費者としてGM作物の栽培には消極的だが、閉鎖系での研究は継続
- ・エネルギー、医薬品など、北海道経済の側面からのGM作物栽培の検討

ウ 北海道にとっての遺伝子組換え作物栽培

- ・GM作物の栽培については、慎重な意見と積極的な意見を併記
- ・徹底的な議論を行う場の継続的な設定
- ・道民の同意が得られない段階では、道が商業栽培に踏み切らないことを明言

(7) 今後の対応

ア 市民提案について、道が施策検討の参考とするほか、国の所管事項については、国に対して必要な提案・要望を行うこととなっている。

イ 実行委員会が取りまとめた「コンセンサス会議評価報告書」に基づき、食の安全・安心に委員会等が道内におけるコンセンサス会議の活用等の可能性を検討する。

(8) コンセンサス会議実施フロー

時期	実施内容等	備考
H18. 6月5日	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> H18年度 第1回北海道食の安全・安心委員会 ・遺伝子組換え作物をリスクコミュニケーションのテーマとする意見 ・リスクコミュニケーションをコンセンサス会議で実施する意見 </div>	
7月28日	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 準備委員会 委員：6名（道、協力機関） 議題：○遺伝子組換え作物コンセンサス会議の進め方 ・全体構想の検討 ・実行委員会委員の選出 など </div>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 準備委員会は主催者である道が主体的に運営
8月28日	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 第1回実行委員会 委員：8名（うち1名はファシリテーター） 議題：○実行委員会の運営 ○道民委員の公募 など </div>	<ul style="list-style-type: none"> ■ コンセンサス会議の企画・運営は実行委員会
9月1日～ 10月13日	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 道民委員の公募 ・人数：15名 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 道民委員は公募要領等に基づき募集
9月29日	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 第2回実行委員会 議題：○専門家の選考 ○コンセンサス会議の企画・運営 など </div>	<ul style="list-style-type: none"> ■ GMO栽培について推進的、否定的な者等をバランス良く選考
10月上旬～	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 専門家参加の打診 ・人数：8名 </div>	
10月24日	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 第3回実行委員会 議題：○道民委員の選出 ○専門家の選出 ○コンセンサス会議実施に係る具体的な検討 など </div>	
11月～	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 道民委員の就任依頼等 ・知事による道民委員の就任依頼 ・専門家への参加を依頼 </div>	
11月25日 (土)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 第1回コンセンサス会議（知識の獲得） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 道民委員の委嘱式 ■ シンポジウム形式での実施
12月2日 (土)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 第2回コンセンサス会議（知識の整理） </div>	
12月16日 (土)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 第3回コンセンサス会議（「鍵となる質問」づくり） </div>	
12月18日	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 第4回実行委員会 議題：○「鍵となる質問」に回答する専門家の選考 など </div>	
12月中旬	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 専門家参加の打診・依頼 ・「鍵となる質問」への回答者の選出作業 </div>	
H19 1月26日	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 第5回実行委員会 議題：○第4回コンセンサス会議の運営 など </div>	
2月3日 (土)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 第4回コンセンサス会議 1（専門家との対話と道民委員同士の議論） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ■ シンポジウム形式での実施 ■ 第4回コンセンサス会議は1泊2日での実施 ■ 道民委員が市民提案を道等に提出
2月4日 (日)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 第4回コンセンサス会議 2（市民提案の取りまとめ） ・市民提案を実行委員会、北海道に提出 </div>	
3月19日	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> H18年度 第3回北海道食の安全・安心委員会 ・コンセンサス会議での検討経過報告 ・市民提案の報告 ・市民提案に関する意見交換 </div>	
3月28日	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 第6回実行委員会 議題：○コンセンサス会議の評価 ○評価報告内容の検討 など </div>	
H19. 7月10日	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> H19年度 第1回北海道食の安全・安心委員会 ・コンセンサス会議の評価報告 など </div>	

マスメディアへの継続的な情報提供・報道